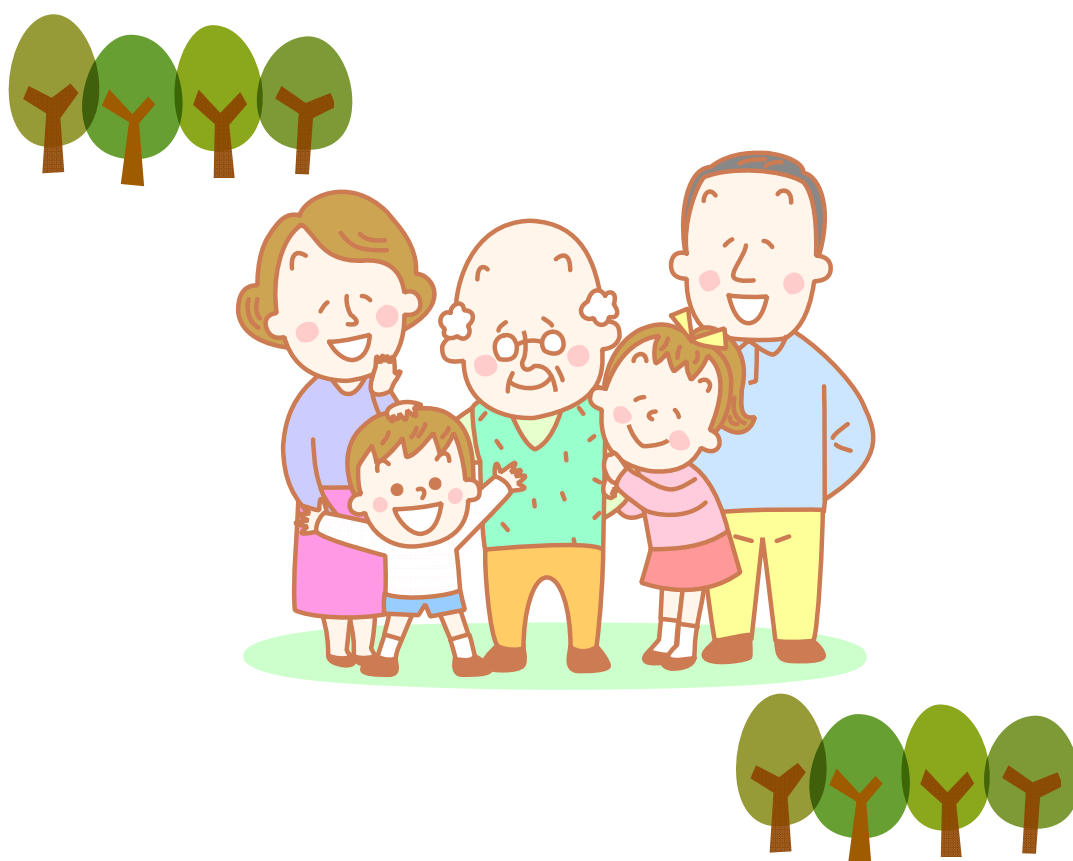


森町協働まちづくり推進事業 補助金活用事例集

(平成 27 年度～令和 2 年度実施事業)



静岡県森町 総務課

はじめに

地域の公共的な課題に、自主的に取り組む町民の活動を支援する「森町協働まちづくり推進事業」。公共施設の美化活動や地域活性化活動など、森町では協働の取り組みが様々な団体で広がっています。

この事例集では、平成 27 年度から令和 2 年 9 月末の間に実施された特徴的な事例を紹介します。これから町民の皆さんが「協働のまちづくり」に向けた取り組みを検討される際の参考となることを期待しています。

1 協働のまちづくりとは

公園の清掃活動や地域活性化イベントなど、対象となるまちづくり事業に自主的に取り組む皆さんを支援するものです。申請のあった活動に対して、町で総合的に判断し、予算の範囲内において補助金を交付します。

2 対象となる事業

- 広く町民が参加でき、その効果が町民に還元される事業
- 主に町内で実施される事業
- 5人以上の構成員で組織される団体が実施する事業

3 補助金制度

事業区分	補助率等	事業例
公共施設管理事業	経費の 10/10 以内 上限 10 万円	生活道路や公園などの 美化活動
地域活性化事業	経費の 1/2 以内 上限 30 万円	まちなかイベントの開催
地域活動推進事業	経費の 1/2 以内 上限 10 万円	子育てセミナーの開催
その他事業	経費の 1/2 以内 上限 10 万円	
合併 60 周年記念事業（※）	経費の 2/3 以内 上限 50 万円	

※ 森町合併 60 周年を記念した平成 27 年度限定の補助メニューです。現在は、申請を受け付けておりません。

目 次

1 公共施設管理事業

- 市場公園美化活動事業（市場子供会）・・・・・・・・・・ 1
- 大久保小学校跡地整備事業（三倉 大久保町内会）・・・・ 2
- 北戸綿第一公園美化活動事業（北戸綿菊寿会）・・・・ 3
- 中川下工業地域環境美化活動事業（森町中川下工業地域協議会）・・・・ 4
- 太田川親水公園清掃事業（かわせみクラブ）・・・・ 5
- 調整池防草シート設置事業（若宮町内会）・・・・ 6

2 地域活性化事業

- 海野光弘木版画展 in 森町 他（森町ほんものに会おう会）・・・・ 7
- 中村家屋敷跡環境保全事業（中村家屋敷跡保存会）・・・・ 8
- 町並みと蔵展（遠州森木三の里連）・・・・ 9
- みんなで森ほたる（森ほたる実行委員会）・・・・ 10
- 半夏生への小径整備事業（てんぼうの里）・・・・ 11
- DAYTONA 森町・静岡茶ミーティング（株式会社デイトナ）・・・・ 12
- 森町スマホ・タブレット活用教室事業（森町スマホ活用教室）・・・・ 13
- 石松ロード作り事業（橘会）・・・・ 14
- #森町アットホームプロジェクト事業（モリマチリトルバル実行委員会） 15

3 地域活動推進事業

- ハザードマップ作成事業 他（中川下町内会）・・・・ 17

4 合併 60 周年記念事業

- 「Gappei 60th ふるさと音楽祭 歌いまいか！」（遠州森夢力の会）・・ 19
- 「森のいしぼん」を用いた森町 PR 事業（森のいしぼん実行委員会）・・ 20
- 森町「郷土誌」復刊事業（森町文化再興の会）・・・・ 21

【団体名】

市場子供会

【事業区分】

公共施設管理事業

【補助金額】

10,145 円 (H27)

※事業費の 10/10 補助

【団体概要】

地域の連帯意識を育て、校外における様々な遊びを通し、子供たちの健やかな成長を目的として以下活動を実施。

- ①市場公園の美化活動
- ②6年生を送る会
- ③廃品回収
- ④クリスマス会等の季節の行事

【協働事例紹介】

○市場公園美化活動事業

市場公園の草刈りや花壇へ種子・球根の播種、植え付けを行うことで、公園の美化活動を推進した。花壇には、チューリップやパンジー、キンセンカ等を植えて公園利用者を楽しませる取り組みを実施した。

【事業費の内訳】

- ・花の種子、球根代
- ・肥料代
- ・シャベル代
- ・草刈機燃料代
- ・作業時の飲み物代



【団体名】

三倉 大久保町内会

【事業区分】

公共施設管理事業

【補助金額】

100,000 円 (H27)

※事業費の 10/10 補助

【団体概要】

区域内の住民で、主に以下活動を実施。

- ①生活環境の改善及び向上に関する活動
- ②住民生活の安全確保に関する活動
- ③住民の健康増進に関する活動
- ④住民相互の融和と扶助に関する活動

【協働事例紹介】

○大久保小学校跡地整備事業

大久保小学校跡地の一部（地下防火水槽の南側）をコンクリートで舗装した。三倉 大久保町内会では、大久保小学校跡地を管理し、跡地の一部を資源ごみ等の収集場所として利用している。事業実施前は、天候が悪いときには収集場所がぬかるみ、住民が転倒してしまう可能性等の危険があった。安心・安全にごみ出しをすることができるよう、地元住民で舗装作業を実施した。

【事業費の内訳】

- ・生コン代
- ・ワイヤーメッシュ代
- ・型枠材代



【団体名】

北戸綿菊寿会

【事業区分】

公共施設管理事業

【補助金額】

16,670 円（H29 他）

※事業費の 10/10 補助

【団体概要】

森町シニアクラブ連合会に加盟し、月 1 回程度の定例会の開催やグランドゴルフ大会出場等シニアクラブの行事に参加していた。

※令和 2 年度現在は、森町シニアクラブ連合会に未加盟。

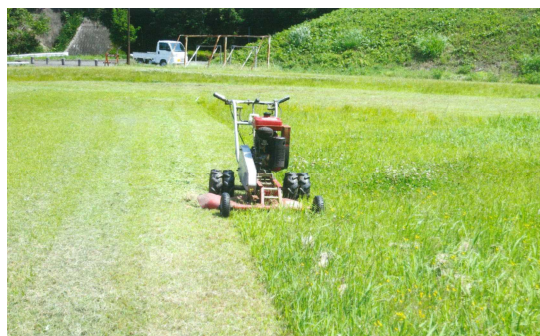
【協働事例紹介】

○北戸綿第一公園美化活動事業

北戸綿第一公園を快適に利用することを目的に、草刈りや清掃、コスモス等の花の管理を実施した。草刈りについては、公園全面を年 6 回程度実施。また、公園内の空き地にコスモスやマリーゴールドを植え、花の水やり等の管理をすることで公園利用者を楽しませる取り組みを行った。

【事業費の内訳】

- ・草刈機燃料代
- ・草刈機専用部品代
- ・芝刈機賃借料
- ・作業時の飲み物代



【団体名】

森町中川下工業地域協議会

【事業区分】

公共施設管理事業

【補助金額】

100,000 円 (R01 他)

※事業費の 10/10 補助

【団体概要】

中川下工業団地にある企業で構成される森町中川下工業地域協議会。会員相互の調和交流を密にし、共通の利益を図ることや中川下地域の振興に貢献することを目的に、工場周辺の道路等の草刈り、献血活動、交流会等を実施している。

【協働事例紹介】

○中川下工業地域環境美化活動事業

中川下工業団地にある各工場周辺の道路・水路等の草刈りや除草剤散布等の美化活動を実施した。また、側溝等の掃除を行うことで、各工場の周辺環境の保全を図った。

【事業費の内訳】

- ・ 作業時の損害保険代
- ・ 草刈り機燃料代
- ・ チップソー代
- ・ 草刈り機レンタル代
- ・ 除草剤等の材料代
- ・ 作業時の飲み物代



【団体名】

かわせみクラブ

【事業区分】

公共施設管理事業

【補助金額】

100,000 円 (R01 他)

※事業費の 10/10 補助

【団体概要】

毎週水曜日に太田川親水公園にて、グランドゴルフ等の活動を実施。仲間づくりの場としてグランドゴルフ愛好者が集い、親睦と交流を深めるとともに、健康促進及び技能・マナーの向上を目指して活動している。

【協働事例紹介】

○太田川親水公園清掃事業

定例のグランドゴルフ練習の終了後に、太田川親水公園芝生広場及び周辺施設等の清掃・草刈りを実施し、公園の円滑な利用を図った。堤防の法面の草刈りを年2回、4～10月の期間、毎月第2・4水曜日に芝生広場の草取りを実施した。

【事業費の内訳】

- ・草刈り機燃料代
- ・チップソー代
- ・作業時の飲み物代
- ・軍手等の消耗品代
- ・草刈り機替刃代 他



【団体名】

若宮町内会

【事業区分】

公共施設管理事業

【補助金額】

100,000 円 (R01)

※事業費の 10/10 補助

【団体概要】

地域住民の親睦を図り、住みよい地域づくりを推進していくことを目的に次の活動をしている。

- ①敬老会、体協行事、祭典などのイベント実施
- ②側溝清掃や調整池の草刈りなどの環境整備
- ③防災訓練 等

【協働事例紹介】

○調整池防草シート設置事業

若宮町内会では、毎年5月と9月に調整池の草刈りを行っているが、近年、高齢化の進展により、作業が大きな負担となっている。特に、水路に面した法面の草刈りは、転落の危険を伴う極めて困難な作業となっている。このため、町内会住民が防草シートを設置することにより、除草作業の軽減と安全性の確保を図った。

【事業費の内訳】

- ・防草シート材料代
- ・固定ピン代
- ・おさえマット代



【団体名】

森町ほんものに会う会

【事業区分】

地域活性化事業

【補助金額】

218,906 円 (H29)

81,976 円 (R01)

※事業費の 1/2 補助

【団体概要】

静岡県は県内全市町に「人づくり推進委員」を委嘱し、人づくり活動を進めている。森町では、推進委員と有志で、「森町ほんものに会う会」を立ち上げ、多くの方に音楽や絵画など「ほんもの」に会える機会を作り、人づくり活動を行っている。

【協働事例紹介】

○ うんのみつひろ 海野光弘木版画展 in 森町 (H29)

静岡市生まれの木版画家の故海野光弘さんの作品を島田市美術館から借りて、本町通りの松浦製茶(株)旧工場で展示した。展示期間中には、故海野光弘さんの妻花告枝さんも訪れ、来場者らに作品を紹介した。

○ 写実の絵画展 in 森町 (R01)

人の手によって描かれた写真のような「写実絵画」。日本、世界で活躍中の画家の「ほんもの」の絵を借りて本町通りの松浦製茶(株)旧工場で展示した。筆の使い方や絵の具の置き方を目の前で見てもらい、絵は自由だと感じてもらえたらと企画。展示期間中には、第29回町並みと蔵展も開催され、多くの来場者で賑わった。

【事業費の内訳】

- ・チラシ印刷代
- ・絵画賃借料
- ・会場使用料
- ・会場光熱費
- ・ボランティアスタッフの飲み物代
- ・会場付近の仮設トイレ設置代 他



令和元年度開催 写実の絵画展

【団体名】

中村家屋敷跡保存会

【事業区分】

地域活性化事業

【補助金額】

42,885 円 (H29)

※事業費の 1/2 補助

【団体概要】

町指定の文化財である中村家屋敷跡地の美化活動を実施。毎年、定期的な除草作業や花木の手入れ等を行っている。文化財の保全や周辺地域の活性化を目的に活動している。

【協働事例紹介】

○中村家屋敷跡環境保全事業

町指定文化財である中村家屋敷跡の草刈りを実施。平成 29 年度においては、毎年行っている定期的な草刈りに加えて、梨棚の整備を行った。老朽化していた木製の梨棚を撤去し、新たに鉄パイプ等を用いた金属製のものを設置した。

【事業費の内訳】

- ・肥料代
- ・花木苗代
- ・農業用マルチ代
- ・草刈機燃料代
- ・作業時の飲料代



【団体名】

遠州森木三の里連

【事業区分】

地域活性化事業

【補助金額】

300,000 円 (R01 他)

※事業費の 1/2 補助

【団体概要】

静岡県下でも貴重な歴史と文化の薫る「町並みと蔵」を町内外の人々に知ってもらい、「森の町は面白い」といって、また来てもらえるような活気のあるまちづくりを目指し活動。毎月第3日曜日に遠州森駅駐車場にて行われる古着市と年2回開催される町並みと蔵展開催をしている。

【協働事例紹介】

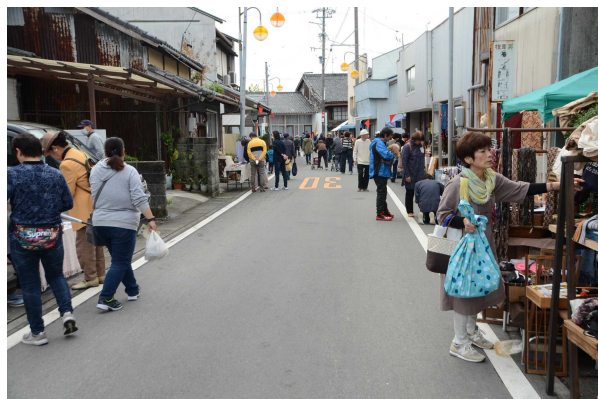
○町並みと蔵展

毎年、春と秋の2回、森町中心市街地で「町並みと蔵展」を開催。かつて、お茶や衣類などが保存されていた土蔵や趣のある旧家が開放されるほか、通りでは骨董品や衣服など約100軒の模擬店が並ぶ。また、各回ごとに「森の茶の歴史に学ぶ」や「徳川家康と森の町」などのテーマを設け講演も行っている。

このイベントを通し、森町の貴重な「町並みと蔵」を知ってもらい、旧家の歴史的な資料を展示するとともに、町内の皆さんの協力を得て「森町らしさ」を演出して街中にお客様をお迎えすることが目的である。

【事業費の内訳】

- ・PR用ハガキ印刷代
- ・PR用ホームページ作成管理代
- ・蔵等の借家料
- ・事前打ち合わせ時の会場使用料
- ・当日販売用最中の材料代
- ・人力車運営費
- ・ボランティアの弁当代 他



【団体名】

森ほたる実行委員会

【事業区分】

地域活性化事業

【補助金額】

70,000 円 (R01 他)

※事業費の 1/2 補助

【団体概要】

毎年夏に、「みんなで森ほたる」イベントを開催。地域のコミュニケーションを図るとともに、エコ活動を推進することを目的に「森ほたる」と名付けられた行灯を沿道や家の軒下に灯し、昔ながらの夕涼みを楽しむ活動を実施。

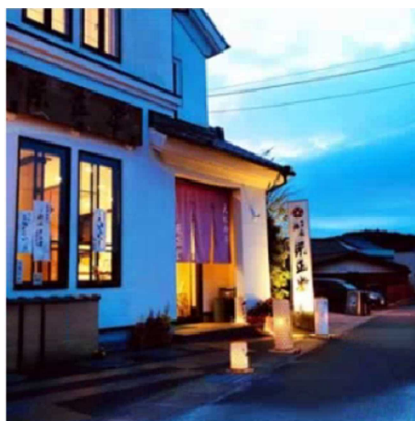
【協働事例紹介】

○「みんなで森ほたる」

「森ほたる」と名付けられた行灯を沿道や家の軒下に灯し、昔ながらの夕涼みを楽しむことで、地域のコミュニケーションを図るとともに、エコ活動を推進した。あわせて期間中に、街角ライブなどの「見イベント」を開催し、より多くの外出や賑わいを創出。イベントは、8/9～15の期間に開催され、最終日である8/15には森町文化会館小ホールにて「森ほたる音楽祭」を実施した。

【事業費の内訳】

- ・会場使用料
- ・広告宣伝用ハガキ印刷代
- ・折込チラシ等手数料
- ・行灯、和紙等の材料代
- ・見イベントの電気代 他



【団体名】

てんぼうの里

【事業区分】

地域活性化事業

【補助金額】

125,000 円 (R01)

※事業費の 1/2 補助

【団体概要】

森町北部の中山間地に位置する鍛冶島地区の住民有志が集まり、共助・協同を目的に活動。自生する半夏生の管理、来客者の安全確保のための道路等の安全整備を行っている。また、耕作放棄地の再生を目的に餅米づくりをして、餅つき大会を行うなど秋の収穫祭を実施している。

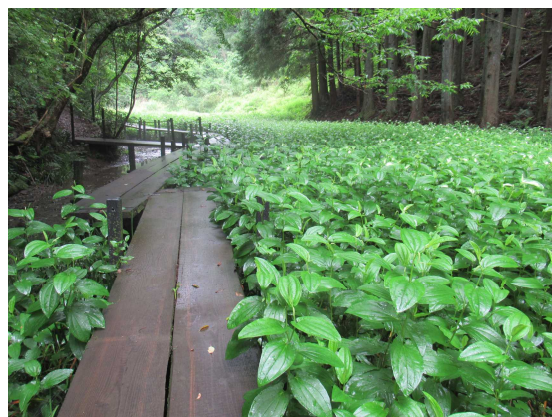
【協働事例紹介】

○半夏生への小径整備事業

鍛冶島町内会門田地区に自生繁茂した半夏生には、約 1.2km の小径（通称：半夏生への小径）があり、側を流れる小川には、約 20 年前に地元で施工した木橋が 2 か所ある。設置から年月が経過しており、傷みが激しかったため、来客者等の安全を確保するべく整備を行った。

【補助金の使い道】

- ・ 橋整備のための材料代
（木材、ボルト、塗料 他）
- ・ 作業時の飲み物代



【団体名】

(株) デイトナ

【事業区分】

地域活性化事業

【補助金額】

129,015 円 (R01 他)

※事業費の 1/2 補助

【団体概要】

二輪車のアフターパーツを企画・開発・販売。お客様の意見をダイレクトに反映する開発会員制度を導入したり、DAYTONA 森町・静岡茶ミーティングのような定例イベントの開催をしたり、ライダーとともにバイクを純粋に楽しみながら、ユーザーに響く商品を企画している。

【協働事例紹介】

○ DAYTONA 森町・静岡茶ミーティング

(株)デイトナ主催で社内テストコースを用いて、各車両メーカーによる新車試乗会や展示即売会を行う「DAYTONA 森町・静岡茶ミーティング」イベントを実施。イベント中では、茶娘による森の新茶呈茶サービスや主に飲食店の町内企業がブース出展を行い、来場者へ森町の PR を行った。

【事業費の内訳】

- ・テント設営代
- ・呈茶サービス用お茶代
- ・仮設トイレ設営代
- ・仮設トイレ汲み取り代



【団体名】

森町スマホ活用教室

【事業区分】

地域活性化事業

【補助金額】

23,800 円 (R01)

※事業費の 1/2 補助

【団体概要】

スマートフォンやタブレットで、Line や Facebook、Twitter、Instagram などの SNS（会員制交流サイト）を利用したシティプロモーションや安全利用を推進するため、利用者の相談窓口として相談塾を開く等の活動を実施している。

【協働事例紹介】

○森町スマホ・タブレット活用教室事業

スマートフォンやタブレットで、SNS（会員制交流サイト）を利用したシティプロモーションや安全利用を目的に、以下活動を実施した。

- 1 スマホ・タブレットに関する講習会の開催（年 11 回開催）
- 2 SNS を活用したシティプロモーションの展開
 - （1）Line によるネットワーク化
 - （2）Facebook や Instagram による森町の情報発信
- 3 スマホ・タブレットの有効活用についてのアドバイス
 - （1）スマホの安全利用等についてのアドバイス
 - （2）スマホ決済に関する安全利用の指導

【事業費の内訳】

- ・資料コピー代等の事務費
- ・会場使用料
- ・講師料
- ・参考図書代



【団体名】

橘 会

【事業区分】

地域活性化事業

【補助金額】

105,200 円 (R01)

※事業費の 1/2 補助

【団体概要】

世代間の親睦を図るため、以下の事業を実施。

- ①祭典時の外商役（たこやき、焼きそば等）
- ②ゴミゼロ運動
- ③大洞院ライトアップ設置
- ④毎月第4日曜日定例会
- ⑤その他町内会及び社教からの依頼ごと協力

【協働事例紹介】

○石松ロード作り事業

大洞院へ観光客を誘致するため、町民の森北ゲートから大洞院へ続く道（大洞院伏間線）沿いの土手にコスモス、沿線の田んぼに菜の花を植えることで、地域の魅力を向上させた。コスモスについては、8月に土手の草刈り及び除草剤散布を行い、種まきを実施。菜の花については、10月の稲刈り後に、水切り、石灰まき、種まきを行った。今後も事業を継続し、沿線全体に栽培面積を広げる予定。

【事業費の内訳】

- ・コスモス及び菜の花の種代
- ・草刈機の替刃代
- ・トラクター借り上げ代
- ・燃料費
- ・看板設置代
- ・作業者の飲み物代



【団体名】

モリマチリトルバル実行委員会

【事業区分】

地域活性化事業

【補助金額】

22,545 円 (R02)

※事業費の 1/2 補助

【団体概要】

若い世代で森町を盛り上げ、町の活性化を図るために団体を設立。主な事業内容としては、年 1 回夏に開催するマルシェイベント「モリマチリトルバル」。会場には、射的や金魚すくいなどの小さな縁日を設けて、かき氷やカレー、アクセサリーなどの店舗が集まり、子どもから大人まで楽しめる夏祭りイベントを実施。

【協働事例紹介】

〇#森町アットホームプロジェクト 事業

森町商工会が町内飲食店を支援するべく企画した「森町アットホームプロジェクト」をさらに後押しするため、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている町内飲食店のテイクアウト情報や宅配情報をポスターやフライヤー、専用 WEB サイトを作成したり、Instagram 等の SNS を通じて PR を行った。

【事業費の内訳】

- ・ポスター及びフライヤーデザイン代
- ・ポスター及びフライヤー印刷代
- ・専用 WEB サイト作成代



Time at home let's have fun!

たのお・
のう・
しもち・
う！時・
間を

Take Outで

応援



#森町アットホームプロジェクト

Morimachi@Home Project

参加方法 | カンタン②ステップ

- ① 森町のテイクアウトなどを含むおうちでの過ごし方を撮影する
- ② 「#森町アットホームプロジェクト」とハッシュタグをつけて
InstagramなどSNSで投稿 ※「#リトルバルおうち時間」で投稿もOK

テイクアウトや宅配のできる店舗はこちら

詳細はこちら



森町アットホーム
プロジェクト



WEBページ

【団体名】

中川下町内会（中川下自主防災会）

【事業区分】

地域活動推進事業

【補助金額】

35,000 円（R01）

※事業費の 1/2 補助

【団体概要】

「住みたい中川下 住んでよかった中川下」と思える町内会を目指し、次の事業を行っている。

- ①会員相互の円滑な連絡に関する事業
- ②会員相互の融和と扶助に関する事業
- ③会員の教育、福祉、及び文化の向上、健康増進に関する事業 等

【協働事例紹介】

○ ハザードマップ作成事業

中川下地区で起こりえる災害・事故・犯罪等を想定し、A3版のマップに見える化し、町内会会員全世帯に配布した。防災訓練等において、教材として使用し、情報の共有化を図るとともに、平常時の安全意識・防災・防犯意識を醸成する。

○ 「黄色の安心サイン」長布作成事業

被災時、避難したことを伝えるため、外部からひと目で分かるサインを作成。長布を黄色に染めた「黄色の安心サイン」をデザインし、町内会会員全世帯に配布した。日頃から被災時の避難の際に「黄色の安心サイン」を玄関に結ぶように模擬訓練を実施する等して非常時の利用を浸透させる。

【補助金の使い道】

- ・ハザードマップ印刷代
- ・「黄色の安心サイン」長布製作代
- ・作業時文房具代



(凡例)

我が家の一時的緊急避難場所

洪水による、床上浸水区域（1 m未満）

洪水による、一階浸水区域（3 m未満）

洪水による、一階浸水区域（5 m未満）

地震による地盤の液状化

道路の欠落、橋の流失、土砂くずれ

100 m

逃げろ

（注意） 災害の状況によっては、自宅の上層階へ上がって垂直避難することもあるかもしれません。

このような環境下で、私たちは以前にもまして、防災・減災意識を高め、自身はもとより、家族や地域の安全を守るために、平常時においても対策を講じる必要があります。

この我が家の逃げマップは、一般的名称を逃げ地図（正式名称：避難地形時間地図）といい、一時的な緊急避難所への逃げ道をみながら自身の手で書き込むための用紙です。

マップ作成のポイント①～⑤を参考にして

みなさんの自宅から、安全と思われる一時的に緊急避難する場所への逃げ道を、家族内で話し合い、道のり、距離、所要時間を書き込み、我が家の逃げマップを作成してください。

防災の基本は、「先ず逃げる！」ことです。

中川下町内会、中川下自主防災会

逃げ道は、自宅から一時的な緊急避難場所ま

での道のりを、地震、台風、洪水の被災要因によって、その逃げ道をそれぞれ分けて、道のりごとに色鉛筆を使用して矢印で記入します。

逃げ道を考えるときは、道のりの途中に橋が

落ちたり、川添いの路肩の欠落、土砂崩れの起きそうな場所、道路の水没しそうな所など、通行できなくなる箇所は避けてください。

自宅から、選択した緊急避難所までの徒歩で

の避難を前提とした所要時間を記入します。家族に高齢者のいる場合、夜間に逃げる場合、雨時に逃げる場合などのほか、逃げ道に坂道がある場合などによっても時間は異なります。

大人の一分間に歩く距離は（高齢者も含めて

平均4.3mとします。坂道が含まれる場合や足元が悪い場合は一分間、3.0m位で計算します
 幼児・園児が一緒の場合も同様に想定します

一時避難場所や町指定の避難場所などが、災

害警戒区域内にある場合は、平常時から、安全な場所と考えられる3階建て以上の事業所や3階建以上の集合住宅などを、一時的緊急災害避難所として立ち入らせてもらえるよう、所有

者に協力を仰ぐことなども考えてみましょう。

なお、町内会としては、事業所などへの災害時緊急避難場所の提供に関する協力体制を、今後検討していくことも考えています。

町から発令される、避難準備情報・避難指示

避難勧告には、適時、対応をとることが大切です。特に、豪雨時の洪水情報などは、一刻を争うことにもつながります。

避難行動が遅れることで、主要道路の交通渋

滞や通行障害に巻き込まれて、避難に多大の時

また、洪水災害時の逃げ道は、河川沿いや低地、田んぼ道は選べないことです。

人間は、非常時にリスクが迫っていても、

正常性バイアスの心理に陥り、逃げ遅れてしまうことがあります。

過去の被災時に、逃げ遅れた人々の心理的な理由の七割がこの心理によるものです。

正常性バイアスとは「自分は大丈夫」とか「何とかなるから」などと、思い込んでしまい、危機に対処しようとする行動する気持ちを押しとどめてしまう心理状態をいう。

18

【団体名】

遠州森夢力の会

【事業区分】

合併 60 周年記念事業

【補助金額】

444,000 円 (H27)

※事業費の 2/3 補助

【団体概要】

ふるさと森町を大切に慈しむ「町愛（まちあい）」の心を育むことや天浜線を盛り上げることを目的に以下活動を実施。

- ①天浜線の駅を拠点とした音楽会の企画
- ②遠江一宮駅等の文化財の美観維持のための清掃活動
- ③天浜線サポーターズクラブ事業への協力 等

【協働事例紹介】

○「Gappei 60th ふるさと音楽祭 歌いまいか！」

①記念歌「夢・未来・森町」の制作

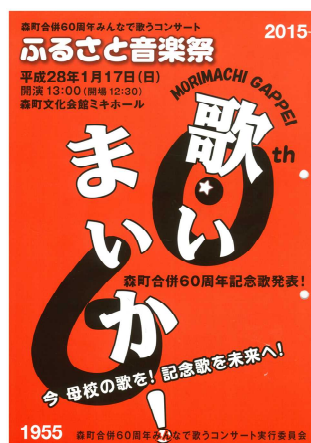
平成 27 年の合併 60 周年を記念して、郷土を慈しむ「町愛（まちあい）」を主題とした楽曲を制作。歌詞は、町民の公募により誕生した。現在、同報無線の定例放送等さまざまな場面で活用されている。

②音楽祭の開催

「森町（母校の歌）を歌おう」をテーマに、町内の小中学校の校歌を在校生や卒業生らで歌い合うコンサートを開催。記念歌「夢・未来・森町」も同コンサートで発表された。

【事業費の内訳】

- ・コンサート広告宣伝費
- ・式典開催費
- ・会場使用料
- ・作曲依頼費
- ・ボランティアスタッフの弁当代 他



【団体名】

森のいしぽん実行委員会

【事業区分】

合併 60 周年記念事業

【補助金額】

64,153 円 (H27)

※事業費の 2/3 補助

【団体概要】

「森の石松」をモチーフにしたキャラクターである「森のいしぽん」を用いて、森町を幅広く PRするとともに、森町内の活性化を図るために活動。Twitter 等の SNS で「森のいしぽん」公式アカウントを作成し、森町の情報発信を行っている。

【協働事例紹介】

○「森のいしぽん」を用いた森町 PR 事業

「森の石松」をモチーフにしたキャラクターである「森のいしぽん」を活用し、森町の PR 活動を実施した。森のいしぽんカード、マグネット、クリアファイル等の PR グッズを作成し、それらを用いるなどして、アクティ森をはじめとした町内外の店舗や施設、インターネット上において PR 活動を実施した。

【事業費の内訳】

- ・グッズ制作費
(缶バッジ、マグネット、マウスパッド、クリアファイル、OPP 袋 等)



【団体名】

森町文化再興の会

【事業区分】

合併 60 周年記念事業

【補助金額】

120,000 円 (H27)

※事業費の 2/3 補助

【団体概要】

森町に息づく歴史や伝統などについて学ぶとともに、若い世代へ伝えることを使命・課題として活動。毎月定例会の開催や、講師を招聘して学習会を開催したり、地域に関わる書籍を輪読する読書会を開催したりしている。

【協働事例紹介】

○森町「郷土誌」復刊事業

森町の古くからの歴史や戦前の状況を詳細にまとめられた「郷土誌」を復刊し、後世に貴重な遺産を受け継ぐため、広く配布を行った。

初版の森町尋常高等学校小学校編「郷土誌」は、昭和 7 年に発行された。初版は、500 ページに及ぶ謄写版によるもので、その後昭和 56 年に森町歴史民俗資料館・森町文化財保存会によりタイプ打ちで約 200 ページに再編集された。時代とともに、再発行された「郷土誌」も非常に数が少なくなってしまった。そこで、この 2 代にわたる歴史の伝承は非常に貴重なものであり、先人の記録として後世に受け継いでいきたいと考え、再発行を実施した。

【事業費の内訳】

- ・印刷代
- ・「郷土誌」発送代
- ・「郷土誌」販売手数料
- ・チラシ印刷用のインク代、紙代



お気軽にご相談ください♪

お問い合わせ先

森町役場総務課行政係

〒437-0293

静岡県森町森 2101-1

電話番号：0538-85-6300

F A X：0538-85-5259

メー ル：soumu@town.shizuoka-mori.lg.jp